



西徳寺だより

3月号
Vol.153

春季彼岸法要のご案内

お彼岸中、墓地・納骨堂にお参りになられる方は多いですが、法話を聞きに本堂に足を運ばれる方は限られているのが現状です。

左記のように春の彼岸法要が勤まります。墓地・納骨堂参りをご縁に、ぜひ仏法に耳を傾けてみてください。

まだまだ肌寒い日が続きますが、本堂を温めて皆様のお参りを心からお待ちしております。

・日時 三月十四日(木) 昼座

・十五日(金) 朝座・昼食・昼座

・十六日(土) 朝座・昼食・昼座

※朝座 午前十時 より 正午まで

※昼座 午後一時三十分より 三時三十分まで

・講師 神奈川県川崎市 妙延寺 山本 清哲師



令和六(二〇二四)年三月発行 編集発行 篠田 尊徳
〒八二二〇〇三四 福岡県直方市山部五四〇
浄土真宗本願寺派 覺音山 西徳寺
TEL 〇九四九二二〇六三六 HP <https://saiokujit.net>
FAX 〇九四九二二〇六六七 MAIL saiokujit@oce.ocn.ne.jp

永代経法要のご案内

親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讃法要 並びに
立教開宗 八百年

「永代経法要」とは、今までに亡くなられた全ての

人々をご縁として、今を生きる私たちが、永代にわたって阿弥陀様のみ教えを聴聞し、受け伝えていくために開かれる、私たちのための法要です。

昨年は鸞聖人御誕生八百五十年、今年は立教開宗(浄土真宗の開宗)八百年の節目の年ですので、初日の九日はその慶讃法要としてお勤めさせていただきます。

・日時 五月 九日(木) 昼座

・十日(金) 朝座・昼食・昼座

・十一日(土) 朝座・昼食・昼座

※朝座 午前十時 より 正午まで

※昼座 午後一時三十分より 三時三十分まで

・講師 広島市佐伯区 最広寺 中村 英龍師



西徳寺ホームページ
QRコード
スマートフォンからアクセス
パソコンからアクセス

『修行大変やったね』

西徳寺 若住職 篠田香徳

もうすぐ京都から直方に帰ってきて一年が経ちます。私はこの一年、月参りやご法事に行かせていただきました。

京都から帰ってきたばかりの私がお参りに行きますと、皆さんから必ず言われることが一つあります。「修行大変やったね」と。皆さんが私を心配して下さる、ありがたいお言葉です。しかし安心して下さい。私は今まで修行をした事がありません。これからありません。皆さんがおそらく想像されておられるような修行、例えば滝に打たれたり、何日間も山に籠こもったり、座禅したりなど色々あると思いますが、どれもありません。もし修行をしていましたら、こんなにもお腹がブヨブヨにはなっていないはずですよ。それぐらい今、私のお腹はブヨブヨなのです。しかし今回は、私のお腹がなぜブヨブヨなのかという問題については置いて、なぜ修行をしていないのかということについて、お話をしていきます。

なぜ修行をしていないのか。端的に言いますと、阿弥陀さまが「あなたは何にもせずにいいよ。私のことを疑わずに、信じてついて来なさい。」と言っておられるからです。「それではお任せさせていただきます。」と頂かせてもらうのが浄土真宗の教えです。そんな理由を聞きますと、阿弥陀さまに修行させておいて、お坊さんは何にもしないなんて、浄土真宗はいい加減ですね、と思われるかもしれませんね。しかし、この「疑わない」というのがとても難しいのです。例えますと、阿弥陀さまに「何もせんでも大丈夫。あな

たを必ずお浄土まで連れて行くために、絶対に沈まない船を作ったから、何もせずにそのまま乗りなさい。」と言われたとします。しかしその絶対に沈まない船と言って見せられたのは筏いかだです。あなたならどうしますか？私なら、一応救命胴衣をつけて乗り込みます。しかしそれではダメなのです。そのまま乗りなさいと言われていのですから、救命胴衣は脱がないといけません。では、この筏いかだに浮きをくくり付けてもいいですか？ダメです。ではせめて、空のペットボトルだけでも。ダメです。いくら

阿弥陀さまだからと言っても、絶対に沈まないから安心して乗りなさいと言われた船が筏いかだであつたら、そんなの信じられません。だってただの筏いかだですもの。あれこれ手を加えたくなります。これが疑いです。私の今の姿です。なかなか阿弥陀さまの言葉を素直に受け

入れられずにいます。だから阿弥陀さまのお話を聞き続けるのです。浄土真宗には修行はありません。しかしお聴聞ちやうもんというのがあります。なかなか阿弥陀さまの言葉を素直に受け入れられない、受け入れられないから聞きに行こう、これがお聴聞ちやうもんです。分からないからお聴聞ちやうもんさせてもらう。この繰り返しで浄土真宗では大切にされてきました。

ちようど三月十四日から十六日にかけて、西徳寺の本堂にて彼岸法要があります。ぜひ阿弥陀さまのお話を聞きに足をお運び下さい。

合掌



納骨堂のお掃除とお荘厳について

西徳寺各納骨堂の春季彼岸前後のお掃除を左記の日程で行います。作業時間は一時間程です。どうぞご協力をお願いします。

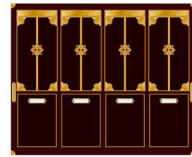
・春季彼岸前のお掃除とお荘厳

三月十二日(火) 午前十一時より

・春季彼岸後の片付け

三月二十七日(水) 午前十時より

※納骨堂のカギは三月十四日～二十七日まで、いつでもお参り出来るよう開けておきますのでどうぞお参り下さい。



親鸞聖人降誕会のご案内

降誕会とは、浄土真宗の開祖 親鸞聖人のお誕生をお祝いし、感謝する法縁です。本当の降誕会は五月二十一日(旧暦四月一日)ですが、西徳寺には「桜」という宝物がありますので、毎年少し

時期を早めて桜の時節に「お花見降誕会」とさせていただきます。お参りします。ただしまだ肌寒い時節ですので本堂にて勤行ご法話の後、そのまま本堂内での宴席。その後、希望者は鐘撞堂横の桜の下に移動してのお花見と考えております。

・日時 四月一日(月) 正午より

※四月四日(木)の壮年会例会、五日(金)の婦人会

例会は降誕会に合流させて頂きます。



絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。

皆さんのご参加をお待ちしております。

・講師 直方市感田 油布 紀美子先生

・場所 西徳寺門信徒会館

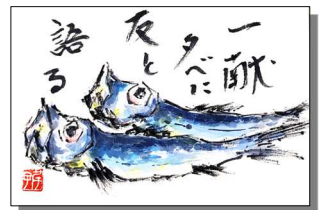
・会費 五〇〇円を参加した時だけ

・第二百六四回 三月二十二日(金)

・第二百六五回 四月二十六日(金)

午後一時三〇分より

三時三〇分まで



「春の念仏奉仕」お願い致します。

念仏奉仕とは西徳寺境内地の美化作業で、春秋の年二回お願いしております。

掃除道具はお寺で準備しますが、使い慣れた道具や草刈り機などお持ちの方はご持参頂きますと助かります。

なお、近年お手伝いの人数が減少傾向のため、昼食はお弁当を取りますので、今まで昼食を担当して下さいました婦人会の皆さんも清掃のお手伝いに回して下さい。

どうぞ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

・日時 五月七日(火) 午前九時より 正午まで

※雨の場合は八日(水)に延期となります。



「納骨堂維持費」と「門信徒会費」の納入について

年度替わりを迎えて、毎年問い合わせがあります「納骨堂維持費」と「門信徒会費」の納入についてお知らせいたします。

毎年、「納骨堂維持費」の振込用紙が四月中旬頃、「門信徒会費」の振込用紙が五月上旬頃お手元に届いていると思います。

「納骨堂維持費」振込用紙が届いてすぐ維持費をご持参下さった方が、半月後に「門信徒会費」振込用紙が届いて再度お寺に足を運んで下さって一緒に届けてもらわないと二度手間て困ると言われるのですが、管理が別組織で一緒にお届けするのは難しい状況です。もし両方ご持参下さる方は「門信徒会費」振込用紙が届くのを待ってから来寺いただけましたら大変助かります。

ご理解の上でご協力をお願いいたします。

西徳寺三納骨堂 加入者追悼法要のお知らせ

西徳寺納骨堂光明殿・智慧殿・清浄殿の加入者追悼法要を

左記の日程で開催いたします。

- ・清浄殿追悼法要 五月十四日(火) 十時より
- ・光明殿追悼法要 五月十五日(水) 十時より
- ・智慧殿追悼法要 五月十六日(木) 十時より

納骨堂加入者の方には改めて詳細なご案内をお出し致します。

「西徳寺寄席」今年も開催いたします

新型コロナウイルスが一応の落ち着きを見せた昨年六月、西徳寺の行事を少しづつコロナ前の形に戻していこうと開催しました「西徳寺寄席」。大変ご好評をいただきましたので、今年も昨年と同じく上方落語家 三代目 林家 菊丸師匠をお招きして開催の運びとなりました。

西徳寺本堂が皆さんの笑い声で満たされることを楽しみにしております。

日時 六月十四日(金) 開場 十三時

開演 十三時三十分

休憩を挟んで十五時まで二席

- ・木戸銭(入場料) 無料
- ・申し込みの必要はありません。

おわりに

長男にお嫁さんが来てくれてお寺が賑やかになったと思ったら、四月から長女が大学進学のためお寺を出ることとなりました。

人生初の一人暮らしを控えた長女は勿論のこと、坊守も娘のマンションに遊びに行けると楽しそうです。私も泊まりに行こうと思つたらレディースマンションだからお断りとのこと。楽しくない(笑)

